

災害時のしおり



令和3年12月現在

防府市

～はじめに～

昨今、日本各地でさまざまな自然災害が発生し、私達の身近でいつ起きてもおかしくない状況です。

このしおりは、緊急時の対応に役立つ防府市の情報をまとめました。
いざという時のために、内容をよく確認して災害に備えましょう。

①自宅周辺の状況を確認しましょう（自分の地域の災害リスクを知る）。

避難場所も家族で話し合っておきましょう。

洪水編

土砂災害編（別紙参照）

・防府市 HP :

<https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soshiki/2/hazardmap.html>

・ハザードマップポータルサイト :

<https://disaportal.gsi.go.jp/index.html>



②事前に登録・連絡をしておきましょう。にチェックをしましょう。

避難行動要支援者名簿への登録

希望される方は、高齢福祉課へ申し出る。

防府市高齢福祉課

☎0835-25-2527

市では、災害発生時の避難をする際に特に配慮を要する方を対象とした「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この名簿は、支援を希望される方の情報を地域の関係者（消防、警察、民生委員、自主防災組織等）に提供することで、災害時の避難誘導や安否確認に役立てるためのものです。

※名簿への登録によって災害時の支援が保証されるものではなく、地域の関係者が法的な責任や義務を負うものでもありません。

緊急告知防災ラジオ

防府市防災危機管理課・
防府市障害福祉課・出張所・公民館にて申請する


防府市防災危機管理課

☎0835-25-2115

災害などの緊急時に防災行政無線の放送（避難情報など）を自動受信する防災ラジオです。障害者手帳所持者がいる世帯は無償配布の対象です。

※平時はAM・FMラジオとして使用できません。

※電源OFFでも防災行政無線の放送を自動的に放送します。

<p>□防府市メールサービスの登録</p> <p>防府市広報広聴課 ☎0835-25-2240</p> 	<p>災害情報等のメールが送られてきます。 【メールの登録】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 携帯電話で左記QRコードを読み取り、空メールを送る。 ② 返信メールに記載されたアドレス（URL）へインターネット接続する。 ③ 利用規約を呼んで「同意」のボタンを選択する。 ④ 必要な情報を選択し、登録内容を確認して、登録ボタンを押す。
<p>□電力会社への連絡 ・中国電力ネットワーク ☎0120-612-570</p>	<p>※人工呼吸器等、医療のために電源が必要な方の地域が停電になった場合、本人・家族が希望する個人・施設・病院等に停電したことをお知らせする「停電発生連絡サービス」というサービスがあります。</p>
<p>□消防本部への連絡</p> <p>防府市防本部 警防課救急係 ☎0835-23-9918</p>	<p>緊急入院時に備え、人工呼吸器を装着した患者がいること、住所、かかりつけ医、搬送先等を事前に情報提供しておきましょう。 ※あらかじめ、災害時に受け入れ可能な病院・施設を探しておきましょう。</p>
<p>□地区の民生委員への連絡</p> <p>_____地区の民生委員 (_____) ☎ _____</p>	<p>いざという時あなたに協力（安否確認・避難時の手助け等）をしてくれる地域の協力者を知り、連絡しておきましょう。</p>
<p>□協力してもらえる近隣の人等</p> <p>(_____) ☎ _____</p>	


□避難所以外の滞在できる場所の確認

避難する際は、避難所以外の親戚、ホテルなどの分散避難も選択肢に入れましょう（安全が確認できている場合）。

③ その他の情報

停電した時のこと（特に人工呼吸器を使用している方）

1. まずブレーカーを確認
ブレーカーが落ちている→ブレーカーを上げましょう。
2. ブレーカーが落ちていない場合は、中国電力山口営業所に連絡し、復旧を依頼しましょう（※カスタマーにつながります）。

 0120-612-570（通話料無料）

- ① 停電していること
- ② 人工呼吸器をつけた患者がいること
- ③ お客様番号

3. 5分以上の停電の場合、中国電力ホームページで、復旧に向けた対応状況や復旧見込み、停電原因等が確認できます。

URL : <http://www.energia.co.jp>

4. 人工呼吸器の内部バッテリーがある間に、外部バッテリーにつなぎましょう。

災害直後には、準備しているバッテリー等を使用して救助を待ついただくこととなります。バッテリーの有無や持続時間は機種によって異なります。平時に医療機器メーカーの担当者や訪問看護師と確認しておくことが大切です。

日常生活用具給付等事業

在宅で人工呼吸器を使用する障害者等への災害時の支援対策として、人工呼吸器の外部バッテリーや蓄電池の費用を助成します。